

【実践事例四】

《第三・四学年》

領域「言葉の特徴や使い方に関する事項」

主語と述語との関係を中心に、文の構成に関しての理解を図るために

1 学習材

「見付けよう！主語はどれかな。」

くミライシード「オクリンク」を活用して

2 ねらい

○ 主語と述語との関係を中心に、文の構成について理解することができ  
る。

3 学習活動の流れ

- 一 主語・述語の関係をおさえる。
- 二 主語・述語に照応する主語を見付ける。
- 三 主語・述語以外の語句が主語と述語のどちらを修飾しているかを考  
える。

4 学習活動の実際

一 主語・述語の関係をおさえる。

はじめに、既習事項の「何が・何は」にあたる言葉を主語「どうする・何  
だ・どんなだ」にあたる言葉を述語ということを確認し、その関係をまとめ  
た。【資料①】

|    |     |     |    |     |       |       |
|----|-----|-----|----|-----|-------|-------|
| 主語 | 何が、 | 何は、 | 述語 | 何だ。 | どんなだ。 | どうする。 |
|----|-----|-----|----|-----|-------|-------|

【資料①】 主語・述語

二 主語・述語に照応する主語を見付ける。

ミライシード「オクリンク」を活用し、述語に照応する主語を見付けさせ  
た。まず、「わたしは」アイスクリームが「好きです。」という文節ごとに  
カードに分けた文を例示し、述語を見付けさせた。すると、述語として、「好  
きです。」というカードを選ぶことができた。次に、述語を手掛かりに主語を  
見付けさせた。「わたしは」アイスクリームが「で迷っている児童には「誰  
が好きなのか。」というヒントを与えると主語は「わたしは」であることに  
気付くことができた。さらに、他の例文も活用し同じように述語から主語を  
見付ける学習を重ねた。分節ごとにカードにしておくことで、画面上で移動  
させながら、主語・述語の関係を考えることができた。【資料②】

|       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 述語    | 主語    | アイスクリームが |
| 好きです。 | わたしは、 |          |

【資料②】 主語・述語の照応

三 主語・述語以外の語句が主語と述語のどちらを修飾しているかを考える。

「庭には 色とりどりの 花が さいた。」という例文を活用し、主語の  
花が述語のさいた。以外の語句の役割について考えた。すると色とりど  
りが主語を、庭にはが述語を詳しくしていることに気付けた。このように  
して、主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係という文の構成に関する

理解を図った。この時も、他の例文を活用しながら同じように語句の役割について整理し、理解を深めた。【資料③】



【資料③】主語・述語の修飾

## 5 取組を終えて

はじめに、「ミライシード」オクリンク」を活用しカードを移動させながら、学習したことは主語・述語を見付けたり、どの言葉を修飾するか考えたりすることに有効であった。また、考えたことを「ひろば」で共有することで、誤りに気付くこともできた。しかし、主語と述語の関係や修飾と被修飾の関係を捉えることを難しいと感じる児童も多いように思われた。文章の内容を理解する場合だけでなく、表現する場合にもそれぞれの文の中で、語句の役割や語句相互の関係に気付いていることは、とても大切である。

今後も機会を捉え、文の構成について理解を深める学習繰り返し重ねていきたい。